

国立大学イノベーション創出環境強化事業 審査・評価委員会（第1回）概要

1. 日 時：令和元年8月26日（月）13:00～16:00
8月28日（水）9:00～16:30
2. 場 所：内閣府 中央合同庁舎第8号館4F 427会議室（8/26）
4F 426会議室（8/28）
3. 議 事：
 - （1）審査・評価委員会と座長について
 - （2）令和元年度国立大学イノベーション創出環境強化事業の公募について
 - （3）選定に向けた審査の観点と採択候補大学の選定方法について
 - （4）令和元年度国立大学イノベーション創出環境強化事業申請大学のヒアリング
 - （5）令和元年度国立大学イノベーション創出環境強化事業の採択について
 - （6）その他
4. 審査・評価委員会 委員
 - 五十嵐 仁一（JXリサーチ株式会社 代表取締役社長）
 - 五十嵐 久也（学校法人芝浦工業大学 理事長）
 - ◎上山 隆大（総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員）
 - 益戸 正樹（UiPath 株式会社 特別顧問）
 - 本山 和夫（学校法人東京理科大学 理事長）

※◎は座長
（五十音順・敬称略）
5. 採択候補大学の選定方法
 - ・一次審査、二次審査ともに満点は30点に設定。
 - ・一次審査と二次審査の合計点で順位付けし、令和元年度は上位大学5校（国立大学運営費交付金の重点支援①及び②の大学3校、重点支援③の大学2校）を選出する。

6. 審査の観点

二次審査は、以下4つの観点に基づき評価する。

審査の観点

(1) 大学の財務構造の適正な把握

(主に各大学の計画調書の「(1) 法人化以降の大学の支出の推移」、「(2) 法人化以降の大学の収入の推移」、「(3) 今後の支出と収入の在り方」に関連)

これまでの大学の支出、収入の分析を基にして、大学の財務構造の現状ならびに課題を適切に把握しているか。

(2) これまでの成果・実績

(主に各大学の計画調書の「(4) 外部資金獲得額増加に向けたこれまでの成果・実績」に関連)

これまでの外部資金獲得の増加に向けた改革の取組は、効果的なものであったか。これまでの成果・実績を踏まえて、今後の計画が実現可能と判断されるか。

(3) 今後の民間資金獲得額増加に向けた計画の妥当性と具体性、実現可能性

(主に各大学の計画調書の「(5) 今後の民間資金獲得額増加に向けた具体的な計画」「(6) 計画を実現するためのガバナンスの強化」に関連)

大学の経営計画に沿った民間資金獲得のための取組は具体的か。その取組は実現性があり、大学の財政基盤強化に資する民間資金の獲得が期待されるものか。

計画する民間資金獲得のための取組実施を担保するガバナンス体制が整備されているか。

(4) 本事業の効果 (主に各大学の計画調書の「(7) 本事業の政策的効果」に関連)

本事業に当該大学が採択されることで、当該大学の経営に強いインパクトを与え、取組を加速させるなど、政策的な効果が期待されるか。